トイレ設備(便房)の分類と特徴(主なもの)

便房とは、男性用の小便器以外の便器のある場所をいい、1人分の区画の範囲を表す。

分類	設置場所の例	特徴
1. 仕切り壁方式	・事務所	・仕切り壁は天井付近又は床面付近で開放が原則
	・工場	・和式及び洋式。現在では水洗式がほとんど
	• 商業施設	・プライバシーの確保は限定的
	・建設工事事務所	
2. 独立個室型	・事務所	・四方が壁で囲まれ、使用者が施錠でき、トイレ区画と1つの便座で構成
	・工場	(飲食店、マンションの1室を用いた事務所など)
	・飲食店	・プライバシーは比較的確保される
	・小売店	・従業員以外と共用の場合がある
	・病院/診療所	
	・社会福祉施設	
3. 車いす使用者用	・商業施設	・腰掛便座、手すり等の配置、十分な空間
	・飲食店	・男女別に固定されていない利用形態も多い(独立個室型の一形態)
	・病院/診療所	
4. 水洗器具付き	• 社会福祉施設	・1~3の便房内に器具を設け、オストメイト対応としたもの
(オストメイト対応)		